



民主・護憲クラブ
奥村 橋倫 議員



大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」の活用

問 大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」は、本市のPRや人づくり、地域づくり、まちづくりにおける積極的な活用を推進・奨励するとされているが、現状は。

答 子どもたちを笑顔に、大牟田のイメージ・知名度の向上に、大牟田を元気という三つの目的の実現のため、イベント等への派遣のほか、ジャー坊公式SNSによる本市の魅力発信、イラストの利活用に取り組んでいる。

再発言 ジャー坊の派遣に関することについては、十分に周知を図ることが重要である。ジャー坊が、おおむたわくわく隊長として、大牟田を中心に様々な場面で盛り上げていただくように要望する。

学校の安全対策について

問 大牟田市内の学校における不審者への対応と対策は。

答 文科省が定める校門の閉鎖や防犯カメラの設置、来場者が校舎内に入る際の入り口の限定、校舎入り口における訪問者の確認と名札の着用などを行っている。また、校舎内にさすまたを常備している。

再発言 不審者の侵入を想定した実践的な避難訓練など常日頃からの安全対策の実施を。



自由民主党市議団
山口 雅夫 議員



大牟田市動物園の今後

問 動物が減少しているが、個体数や種類の将来予測は。

答 令和2年5月で51種類239頭だったが、令和7年5月では37種類153頭となり、今後高年齢化による死亡などで、

さらに減少が見込まれる。

問 現在、空いている獣舎の数や広さの状況は。

答 3施設で、旧アムールヒョウ舎82㎡、旧ホワイトタイガー舎62㎡、旧ゾウ舎175㎡。

なお、旧アムールヒョウ舎は、レッサーパンダ舎としてリニューアルする。

問 ノースサファリサッポロが9月末で閉園予定だが、動物の種類によっては本市で受け入れることができないか。

答 日本動物園水族館協会に加盟している場合は、協会に

より引受先の調整等がされるが、当該園は未加盟であり、当該園と札幌市が協議し、協会に依頼をされれば、本市への受入れの打診も想定される。正式な打診があった際は、指定管理者と協議し検討したい。

問 これ以上、飼育頭数や種類の減少が進めば、ネガティブな印象を抱かれ、リピーターが見込めなくなるのでは。

答 動物減少への対応は喫緊の課題であり、早期に新たな動物の導入を実現し、魅力向上を目指したい。



公明党議員団
山田 修司 議員



AEDアプリの活用

問 AED（自動体外式除細動器）の最寄りの設置場所をスマートフォンを用いて検索できるアプリがあるが、本市の公共施設に設置のAEDをこのようなアプリに登録し、

検索できるようにできないか。

答 AEDの設置状況については、スマートフォンアプリなどの活用も含め、AED設置情報をより周知する方法について検討していきたい。

ヤングケアラー支援

問 ヤングケアラーの相談窓口、ガイドブック、サロンなど、福岡市の取組を参考に、本市でも何か取り組めないか。

答 こども家庭センターなどの相談窓口の周知啓発のほか、

対象者への個別の支援として、家庭相談員が市内の保育所等や、小中学校等を訪問し、ヤングケアラーと思われる子供を含めて、気になる家庭についての情報共有を行っており、継続した支援に取り組んでいる。

今後は、福岡市などの取組も調査し、関係機関との連携強化により、対象となる子供の把握に努め、様々な悩みを抱える家庭の状況に応じた切れ目のない支援に取り組む。